

授業科目名 ( 英文名 )	環境保健論 ( Environmental Health Science I )	科目区分 対象学生	
単位数	1.0	開講年次・ 学期	3年次・後期
担当教員	毛利 好孝	所属	看護学部
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	<p>人間の健康や生活に関わる日本の公衆衛生行政の成り立ちとしくみについて学ぶ。</p> <p>&lt; 学習目標 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公衆衛生行政の理念を理解する</li> <li>・ 日本の公衆衛生行政の変遷と現状・課題を理解する</li> <li>・ 保健福祉行政の仕組みを理解する</li> <li>・ 保健医療福祉の計画の必要性と成り立ちを理解する</li> </ul>		
講義内容・授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 . 公衆衛生とは、公衆衛生行政の目指すもの</li> <li>2 ~ 4 . 日本の公衆衛生行政の変遷と各種保健政策 公衆衛生の基盤形成、感染症対策 母子保健対策 健康づくり対策・生活習慣病対策</li> <li>5 . 日本の医療政策と医療計画</li> <li>6 . 保健福祉行政の仕組み</li> <li>7 . 保健医療福祉における施策立案</li> <li>8 . まとめ</li> </ol>		
テキスト	医学書院：標準保健師講座別巻1「保健医療福祉行政論」最新版		
参考文献	授業の際に資料を配付します		
成績評価の基準・方法	試験（レポート）60%、授業（小テスト）40%		
履修上の注意・履修要件			
実践的教育	行政機関において、実務を行なっている教員が、教科書に書かれた内容が行政現場でどのように実践されているのかについて講義します。		
備考	公衆衛生の理論と現実の違い、その理由を中心に解説します		